I'm moralist
楽しみだな
絶対に負けるものか
品性のかけらもない
こんなやつらにたとえ何されようと
これは男のモノを
これは男に叩かれるための肉
また汚したな
以下だ
イケ牝執事の
マゾ堕ち
徹底研修

キュッ
……よし
村雲…
本当に行っちゃうの？
お金のことなら僕から大門さんに…
大丈夫ですよ
ボクは海戸家執事としての責務を果たすまで
すぐに帰って参りますから
坊ちゃんは何も心配しないでください

ぐに
ぐに
ふむ…

ククッ…
そのすました顔をいつまで保っていられるか
シャアッ
実に楽しみだ
……ッ
ばつん

おお〜〜〜!!

大したものだろ？

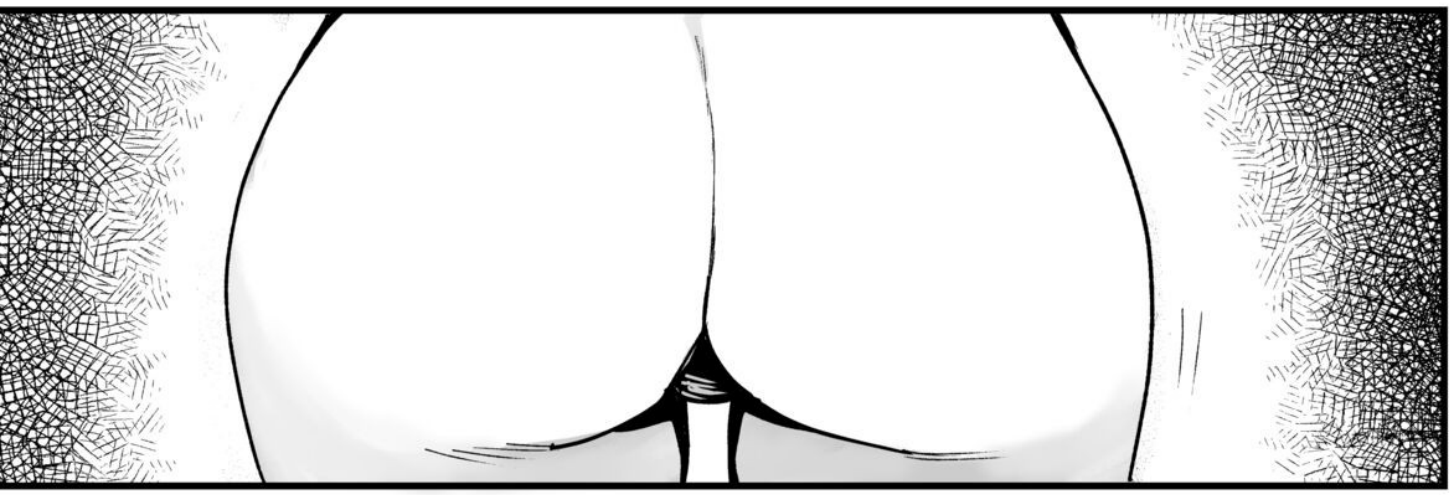
海戸の貧乏屋敷で財産と呼べるのはこの女くらいだ

ギチ…

喜べ

主人様自ら歓迎してやろう

ガシッ
連れていけ



へへへ……
楽しみだな

下衆め…
品性のかけらもない

絶対に負けるものか
こんなやつらにたとえ何をされようと

ぉ…ぉ
カクカク
プチャ
プチャ
カクカク
ぉ
プル
カクカク
ぉ
ぉぉっ♡
ハァ…
ハァ…
プル プル
ぎゅうう…っ…

ぐい
ふん
あ…あ
所詮は牝だ
お…オオ…
使用人の浴室は向こうだ
明日からの奉仕に備えておけ
お
お…
坊…ちゃま……
ブポ…
ブギュッ

…っ!?

んん…っ！

やめてくれ
執務中なんだ

これも俺たちの執務なんだよ

馬鹿な新人に上下関係を教えてやってんだ

下劣な…！あの主人にしてこの使用人か

くちゅっ

あっ!!

ビクッ

カチャッ

あーあ

またやっちゃったね

…89っ
ぐちゅっ
ぐちゅ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅ
90
91…！

フ〜〜〜

贅肉だらけの体しやがって

さ…触るな…っ

言葉遣いがなってねえぞ

んひっ

ぎゅうう!

ぎ!?

ぎぎぎぎぎ♥♥♥

ぎちゃっ!

ゴチュッ

はい姿勢崩した!

3セット追加な

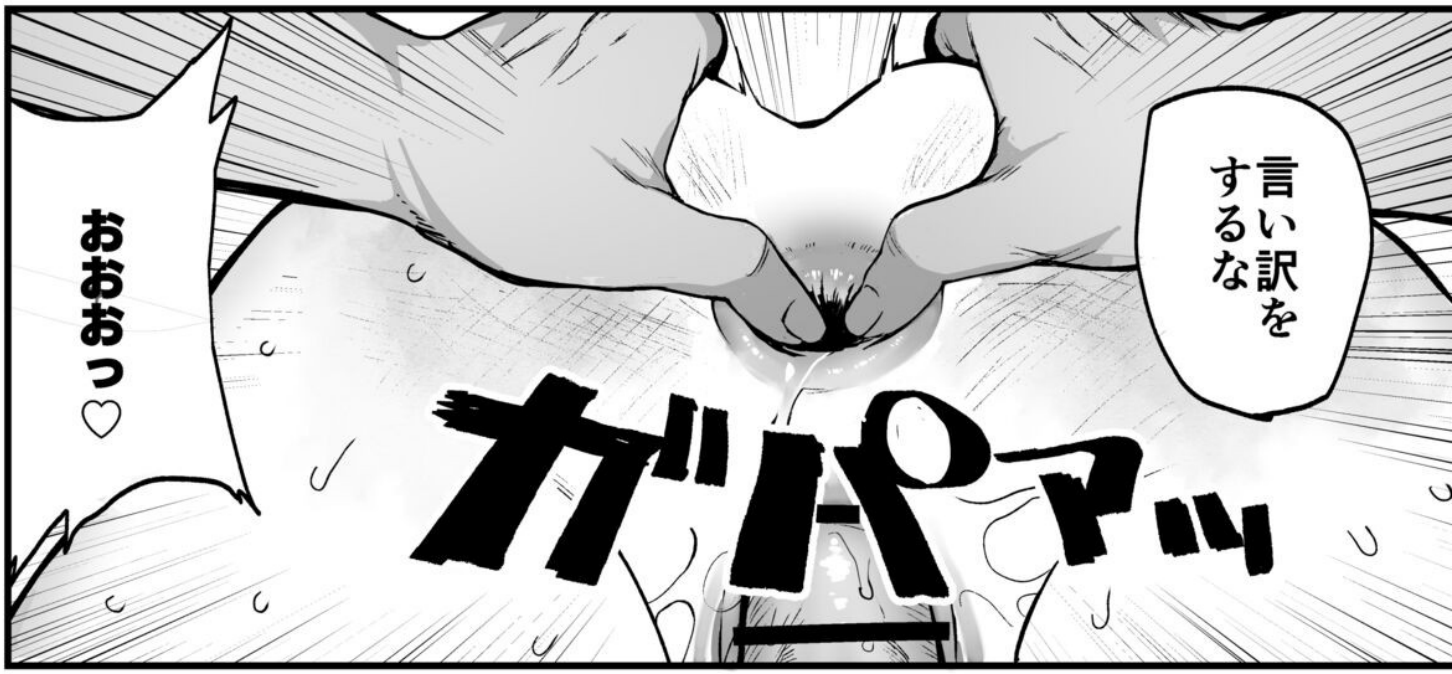
おらキビキビ動けブタ女

あぐっ

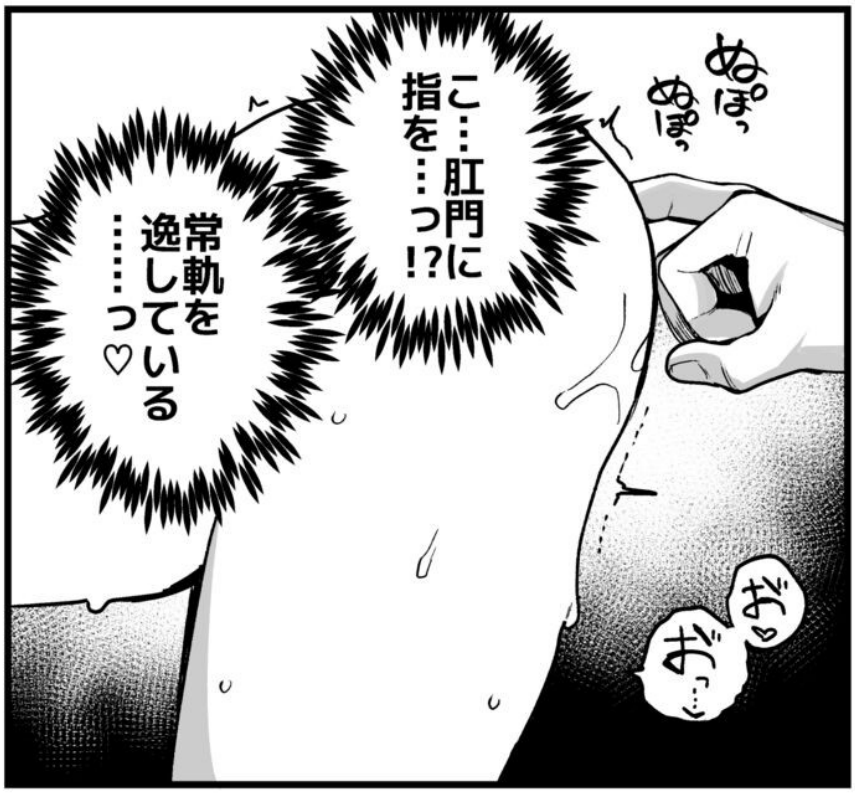
んあっ♡
ああっ
んんっ
おっ♡
おぉおっ…♡
パン
パン
パン
パン
パン
パン
パン
ま…毎晩
毎晩…っ
まぁ
あっ♡
なんて
体力だ…っ
腰遣いが
へたってきたぞ
ズ
ちゅ
ぺぎッ!
ぐぅッ

ふん
こんなザマで執事とは
バチィン
んんっ!!
どうした
何か言ってみろ
パン
あぁっ
どちゅ
どちゅ
どちゅっ
ボクッ
ぐっ…
うう……!
仕方ないだろう…っ

ひ
昼も夜も
パン
パン
パン
パン
パン
好き放題にされてはっ……♡


言い訳をするな
ガパーパァッ
おおおっ♡

ど…どこを触って…っ
つぷぷぷ…
めりめり
くおおっ♡


ぬぽっ
ぬぽっ
こ…肛門に指を…っ!?
常軌を逸している……っ♡
お♡
お…

お前の穴はすべて私に奉仕するためにあるんだよ

くちゅ

くちゅ

おおっ♡

ふ…ふざけ……っ♡

ば…馬鹿な……っ

じわぁ…

ボクは…感じて…？

んっ♡

なんて格好だ……！

女を馬鹿にするにもほどがある

靴も歩きづらいし

なにより…っ

ううっ

ヴヴヴヴヴヴ

おおお……っ♡

ったく

ちゃんと働けよな

貴様…っ！

ウィィィィィィィ

あああっ!!

うぐっ…

と…止まれ……っ♡

止まって……っ

おいおい執事が屋敷を汚すなよ

おっ！またやってんのかァ～～～？

あ……

くあっ
パン
ああああっ
パン
うっ♡
ぐちゅ
ぐちゅ
おおお…っ♡
パン
ぐちゅ
おお…っ♡
ぐぽっ
ぐぽっ
また汚してるじゃねえか
ジョロロロ…
バタタッ
股緩のバカ女がよ
なんだと…っ
と…取り消
ぐちゅ
あぁ
天ぷっ

ズチュッ！
かはっ…
こ…壊れ……っ♡
おうよ体も心も抱き潰してやる
旦那様の命令通りな
んおっ♡
おおおっ♡
やめっ…
パン
パン
パン
パン
パン

ふー…

ちゃんと片付けておけよ

舐めた仕事すっと明日もお仕置きだぜぇ

あ……あ…

ハァ…

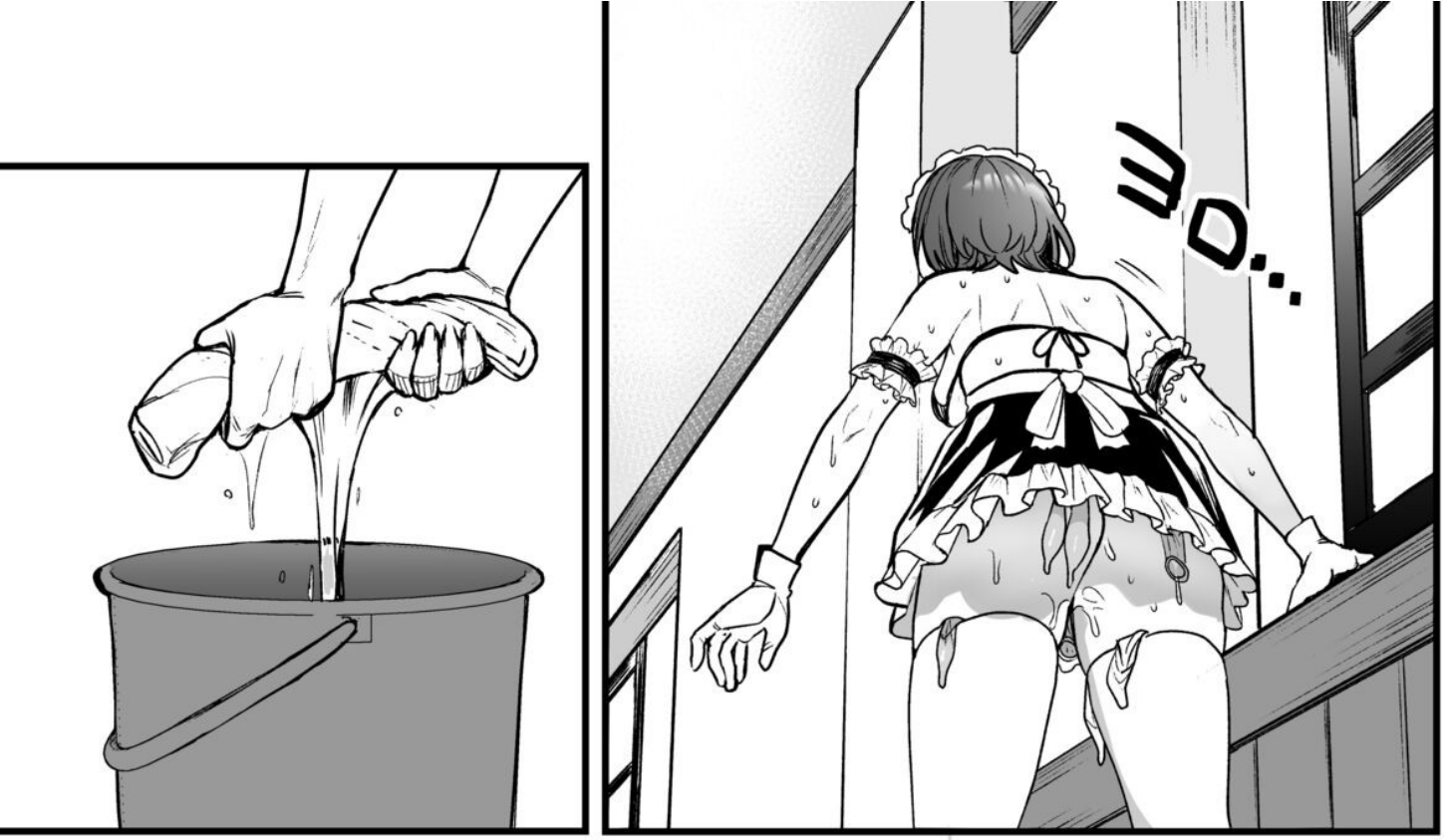
ハァ…

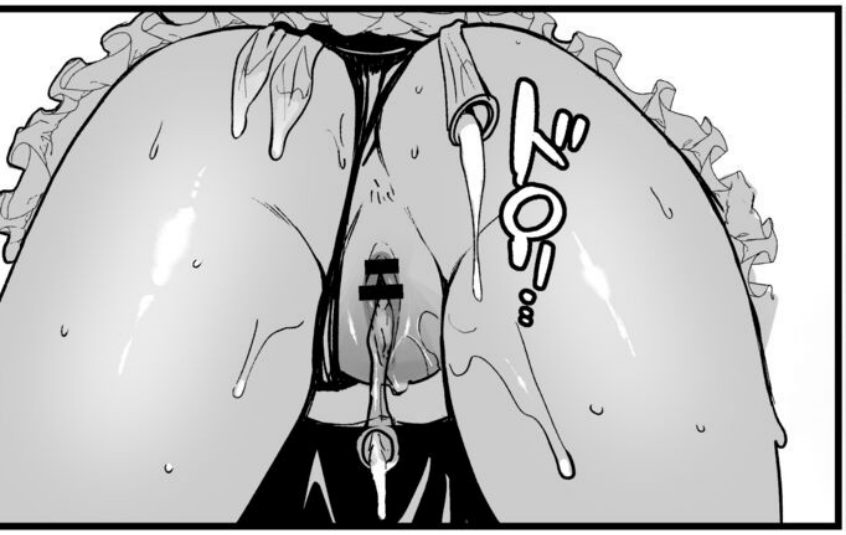
ハァ…

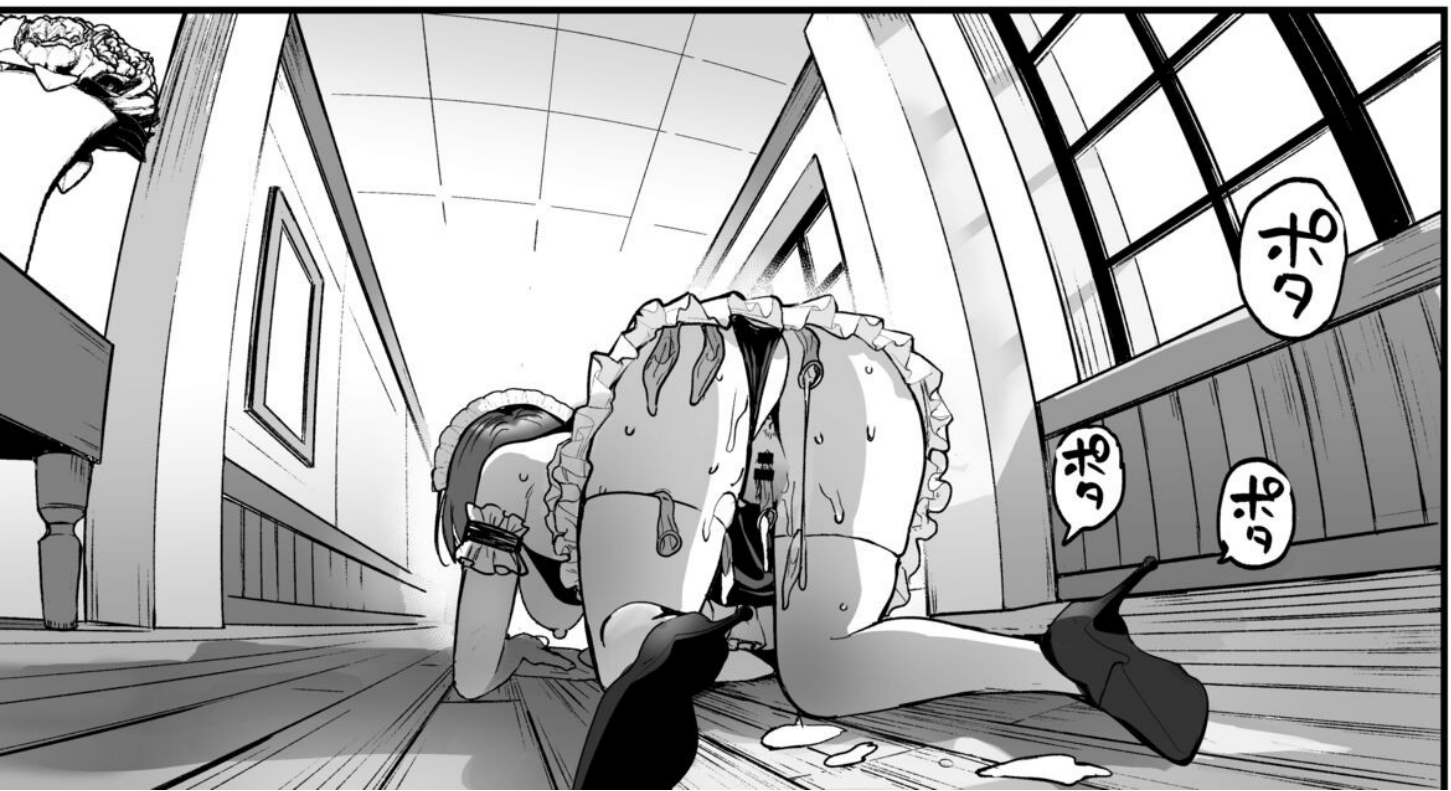
あ…ああ……

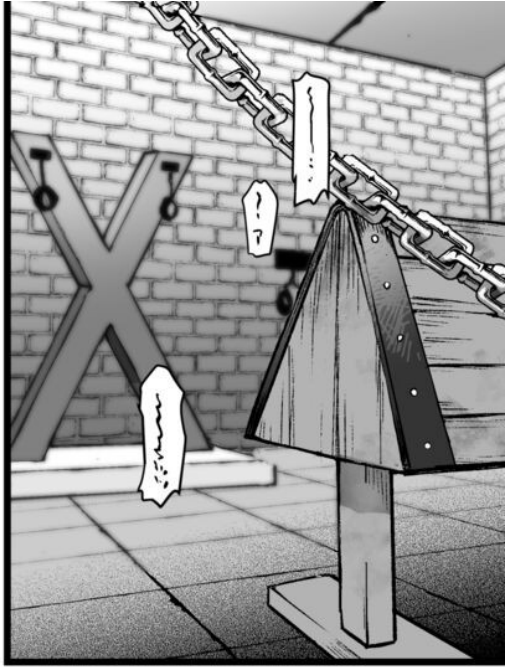
ニ

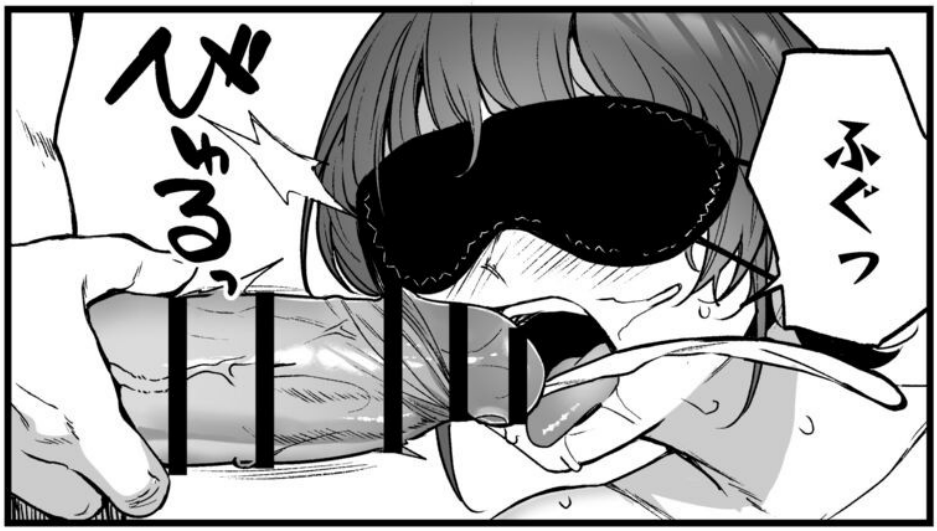
ゴポ…


ヨロ…


ドロ…


ポタ
ポタ
ポタ




ふぐっ
びゅるっ

ぷはっ…
はぁっ!
はぁっ…

た…頼む
少し…
休憩を
おごっ!?
ドキッ

おぐ…
うぅ…っ
ごぼぼッ…
ドボ
ビチチッ
なんだその
ブサイクな
ツラぁ
二度と
執事なんて
名乗んじゃ
ねーぞ

んひいいいッッッ!!

ガシャン

いやだぁっ出ないぃ…!!

おっぱいなんて出ないいいっ

うるせえぞ！ミルク垂れるのが牝牛の仕事だろうが

ふあああああっ♡

ぶ

お出た出た

やっぱ溜まってんじゃねえか

カチャ

きっちり搾りつくしてやるよ

うっ…うう…

も…もうやめ…っ♡

はあっ♥

はあ…っ♥

ポタ…

ポタ

ポタ

我慢が足らんぞ

大切な燕尾服が汁まみれだ

ふっ…♡
うううっ

うう…
止まれ
…っ♡

ビチ

ビチ

止まって
ええ…！

また
汚したな

もはや
雑巾以下だ

いい加減
自分が卑しい牝に
すぎないことが
理解できたかね？

ど…

どれだけ
情けなく
穢され
ようとも

ボクは…
海戸家の
執事

村雲麗華だ
…ッッ!!

まったく
あの主人にしてこの使用人だな

ドゴッ

ぐぁっ

おっ

んおおおおおっ!!

女の使い方も知らん愚か者だ

まああの童貞小僧では無理もないか

ぐちゅ

ぐちゅ

ぼっ…坊ちゃんへの侮辱は…

ああああっ

ではなんだあの胸だけやたらゆとりがある無様な燕尾服は

牝丸出しのだらしない乳を隠すためじゃないのか

ああ？

ぷるんっ

そ…それは

所詮おままごとなんだよ

お前のやっていたことはな

うあっ
くだらん牝の
くだらん執事ごっこだ
うあぁ
あぁぁ
ドクンッ
ドクンッ

それでは最後の復習といこう

これは男のモノを挟むための乳

ぎゅうう

んんっ

これは男に叩かれるための肉

パシーン

んおおっ

これは男の種を搾るための穴で――

ズブッ

んっ

ッく…

うう

お前は私の女だ

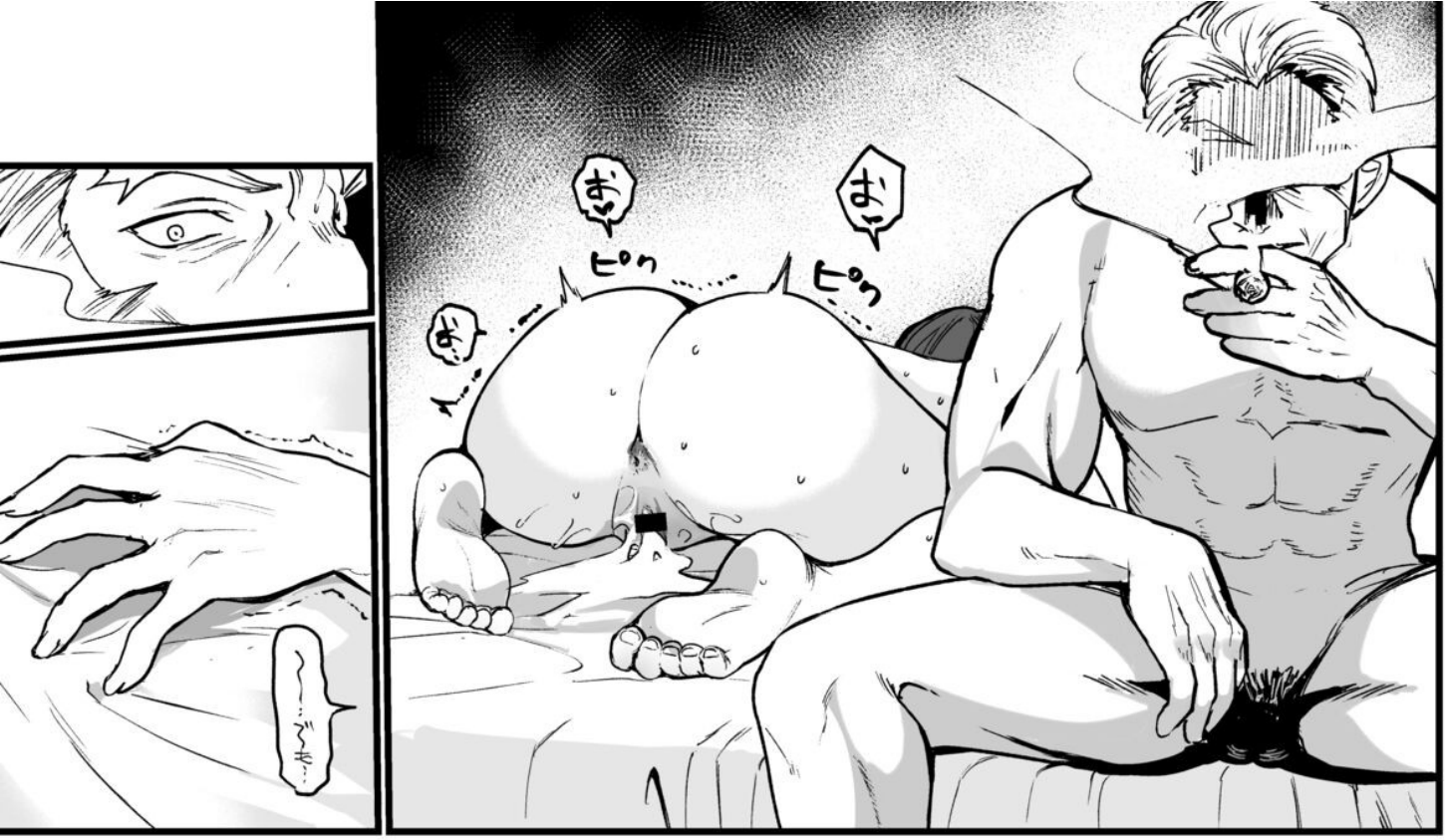
ぶるるっ…

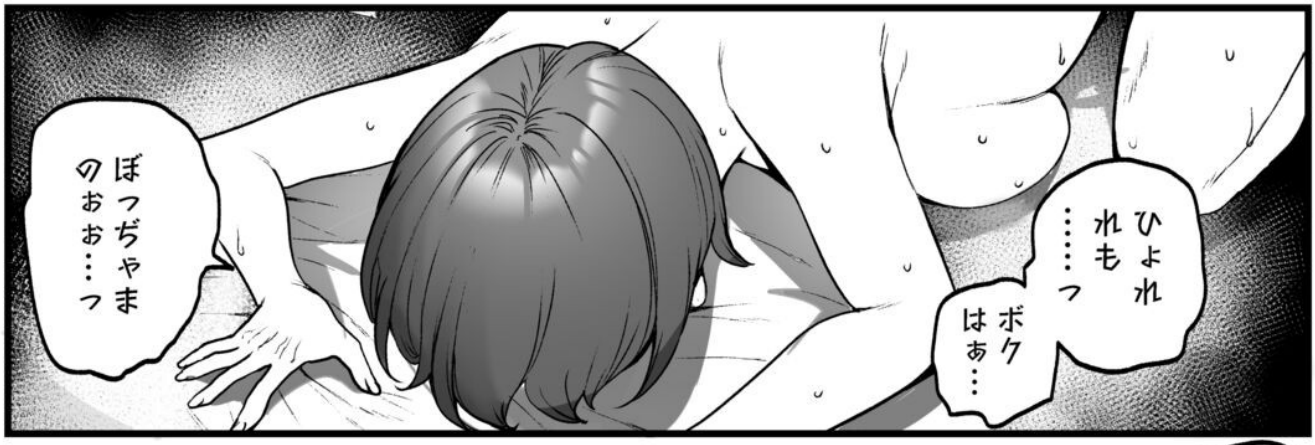
アッ

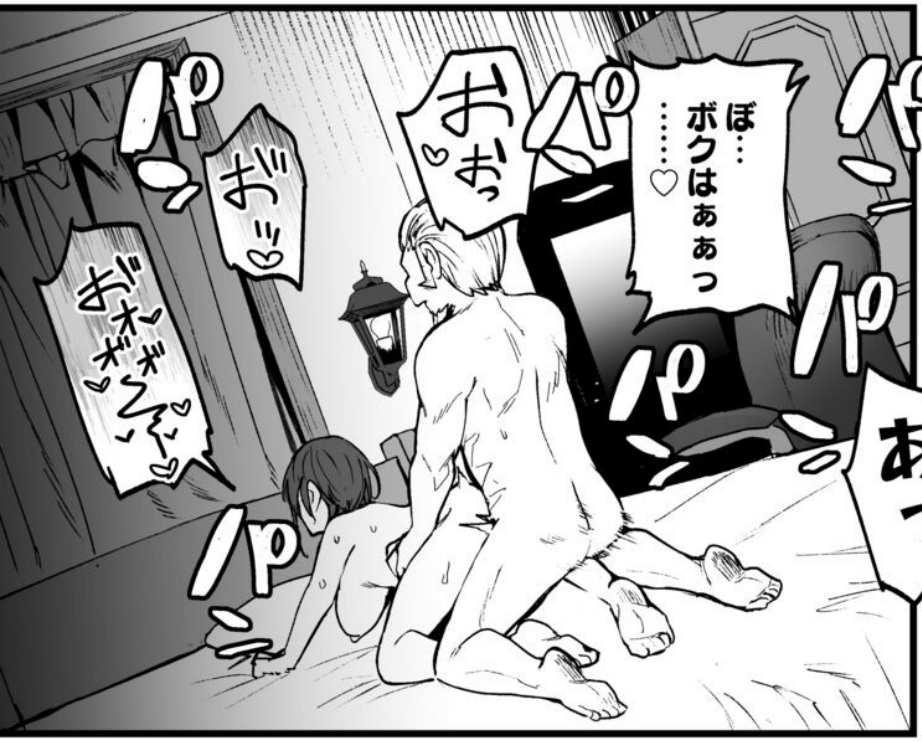
ハッ

ハッ

ハ

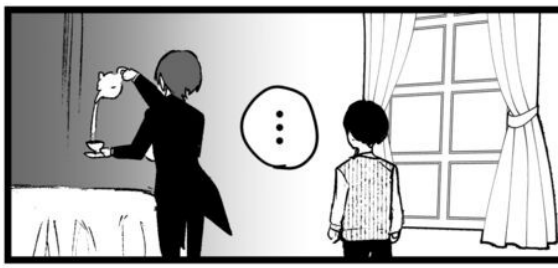

お
ピク
お
ピク
お
〜〜ぐも…


ひょれれも……っ
ボクはぁ…
ぼっぢゃまのおぉ…っ


ぼ…ボクはぁぁっ……♡
おぉっ♡
おぉぉ♡
おぉぉぉぉぉ♡
パ
パ
パ
パ
パ
パ

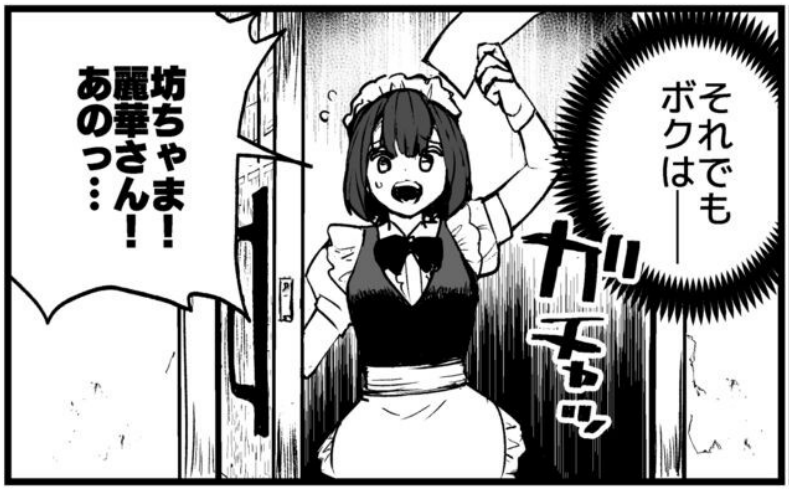
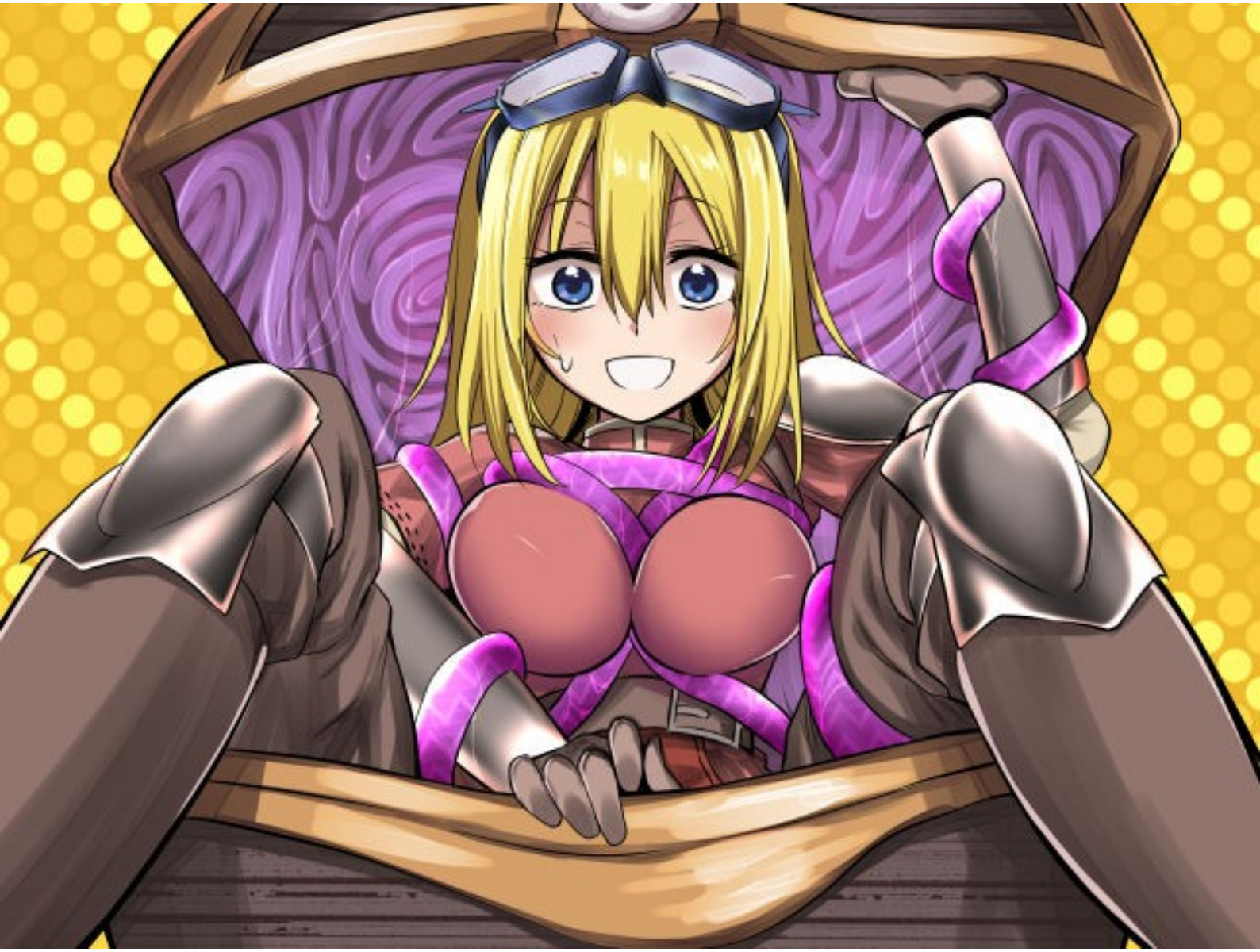
つくづく強情な女だ
あっ

…ええ
何事もありませんでしたよ


…

村雲…
本当に何もなかったの……？

たとえこの身体がもう手遅れだとしても


それでもボクは――
ガチャ
坊ちゃま！麗華さん！あのっ…

大門様から新しい借用書が……！
借用書
え……？